

3 月 30 日 パプアニューギニア、ニューブリテンの地震

2015 年 3 月 30 日 08 時 48 分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューブリテンの深さ 41km で Mw7.4 の地震が発生した。この地震は発震機構（気象庁による CMT 解）が、南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、インド・オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界付近で発生した。

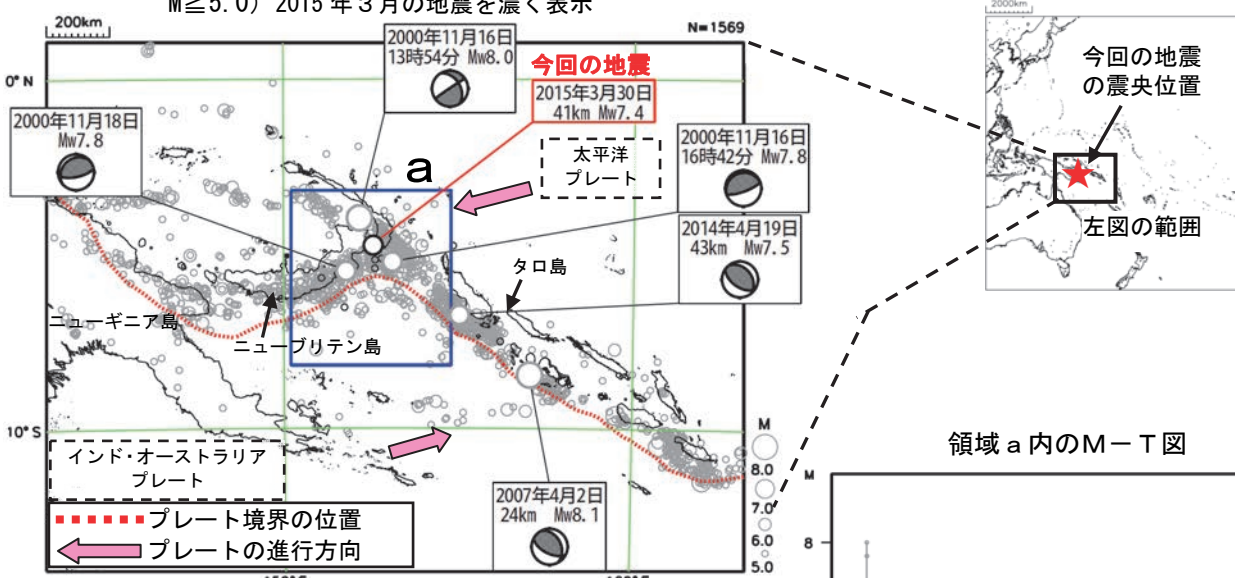
気象庁は、同日 09 時 14 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「太平洋で津波発生の可能性が有ります。日本への津波の有無については現在調査中です。」）を、同日 10 時 22 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。この地震により、ソロモン諸島のタロ島で 3 cm の津波を観測した。

2000 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、2000 年 11 月 16 日に Mw8.0、Mw7.8、11 月 18 日に Mw7.8 の地震が連続して発生し、11 月 16 日の Mw8.0 の地震では、死者 2 人、住家被害多数の被害を生じている。

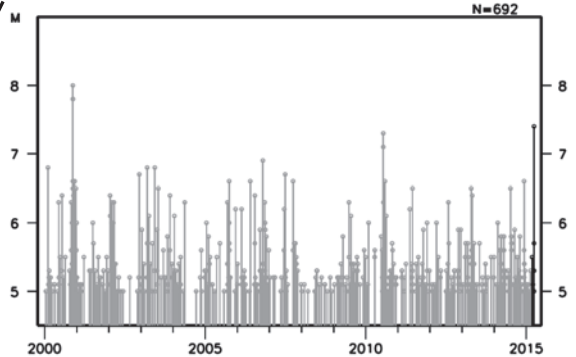
1970 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（左下震央分布図内）では、M7.0 以上の地震が頻繁に発生している。

震央分布図

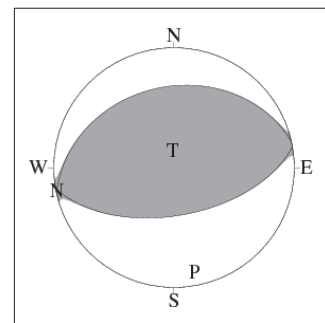
（2000 年 1 月 1 日～2015 年 3 月 31 日、深さ 0～100km、M \geq 5.0）2015 年 3 月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図

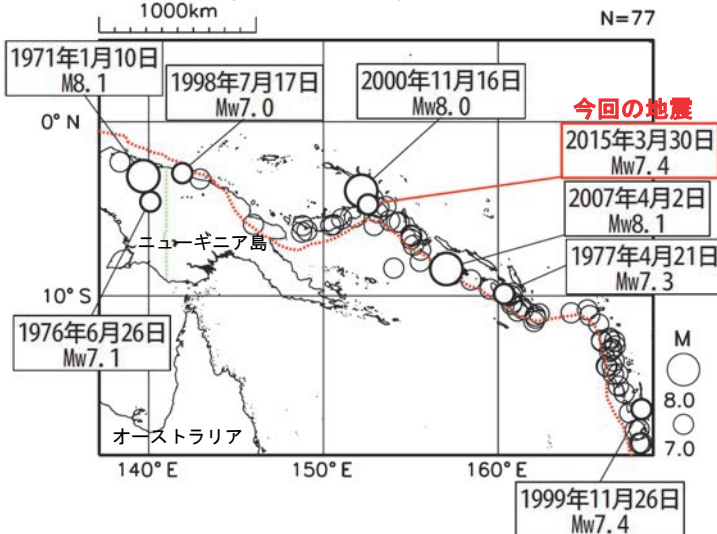


今回の地震の発震機構
（気象庁による CMT 解）



震央分布図

（1970 年 1 月 1 日～2015 年 3 月 31 日、深さ 0～100km、M \geq 7.0）



今回の地震、M8.0以上の地震と、10人以上の被害を生じた地震に吹き出しを付けた。

※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は GlobalCMT による。震源要素は米国地質調査所（USGS）による。過去の被害は、宇津及び（独）建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（2015年4月2日現在）。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.